

資料 3 日野市在宅療養体制構築のための基本方針 の進捗状況 【補足資料】

- ・令和 1 年～6 年までの 6 年間で計画期間の初年度
- ・6 つの施策の方向性と 31 の施策項目
- ・左端数字が各方向性の施策項目の番号

・施策の方向性 1 「医療機関の特徴や相談窓口の見える化」

- 1 リーフレットの作成、在宅医一覧（HP 掲載）
- 2 3/1 在宅医療・介護サービスフェア
- 4 緩和ケア講演会 イオンで日野市出身の在宅医 約 150 名 令和元年 12 月

・施策の方向性 2 「患者やその家族の精神的・肉体的な負担軽減体制」

- 1 スーパーバイザーによる事例検討会 毎月開催 12 月末で 200 人の参加
- 4 市立病院患者会のがんカフェに保健師の派遣 毎月
- 7 都内初の市単位での管理栄養士会の設立支援 →東京都栄養士会の共食事業の実施（百草団地サロン）

・施策の方向性 3 「患者を中心とした関係機関の意識と情報の共有化」

- 1 医師会との協定締結 協定に基づき災害医療体制の検討やフレイル予防への対応
- 2 在宅高齢者療養推進協議会にてルール策定に着手
- 3 医師会と協力し MCS（メディカルケアステーション）のテスト運用開始
- 6 市立病院の認定看護師と地域の連携支援

・施策の方向性 4 「在宅療養環境のバランスを考慮したコーディネート」

- 1・3 連携支援センターの開設に向け、在宅療養支援課の保健師が市内外病院や関係機関との連携構築
→（仮）在宅療養サポートチーム
- 5 まちの在宅医療相談会 市内在宅医 2 名とコラボ 6 回 15 名参加 （年 8 回予定）

・施策の方向性 5 「退院・退所時に安心できる相談支援体制の整備」

- 1・3 連携支援センターの開設に向け、在宅療養支援課の保健師が市内外病院や関係機関との連携構築【再掲】
→（仮）在宅療養サポートチーム

・施策の方向性 6 「在宅療養の利用状況等のデータ集積に取り組みます」

- 1 訪問看護ステーションへの聞き取りを実施（10 か所／12 か所）
第 4 期高齢者福祉総合計画の調査項目の協議（看取りの追加）と結果
- 2 レセプトデータについては国のデータ解析の情報提供が R2 年度にもらえる予定（手続きは令和元年度）